

地方公務員が一般社団法人を設立して町の財源を生み出す(栃木県茂木町)

取組概要

地域商社「一般社団法人Social Up Motegi」は茂木町役場有志4名により令和2年4月1日に設立した非営利の一般社団法人である。現在は趣旨に賛同してくれた仲間も増え、10名で業務外の取組として活動している。設立費用はクラウドファンディングで獲得し、国・県・町から運営費の補助金や資本提携はなし。

取組の効果

初年度は茂木町産木材と茂木町産和牛のブランディングプロデュースと販売を実施し、総売上は約300万円で純利益は約12万円、うち6万円を町に寄付をした。

創意・工夫した点

法人の「2枚目の名刺」を持つことにより、町職員の立場とは切り離れた経済活動や情報発信などを行うことが可能となりました。当法人の定款は、非営利団体、無報酬であることから、地方公務員法第38条第1項の兼業許可を要しない内容となっており、公務の遂行に支障が生じないように社会貢献活動の一環として活動を行っています。

他団体へのアドバイス

町を活性化させたいという同じ志や思いを持つ仲間が必要だと思います。また、新しいことを始めるには様々な弊害があるため、それらの強い思いがある職員をより多く集い、自由に活動できる環境を整えてください。

人口 12,178人 (R4.1.1現在)

担当 総務課



法人設立クラウドファンディング



もてぎ放牧黒毛和牛クラウドファンディング